

編集後記

過日の台風19号は各地に大きな被害を与え、多くの方が被害にあわれました。被災された方々に心よりお見舞いを申し上げるとともに、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

さて台風19号の最中に、日本骨代謝学会と日本骨粗鬆症学会が11年ぶりに合同学術集会という形で、神戸で開催されました。私は日本骨代謝学会の会長を務めさせていただきましたが、日本骨粗鬆症学会会長を務められ、今号の企画を立案いただいた鳥取大学の萩野浩先生が掲げられたテーマは「多職種で骨卒中を防ぐ」というものでした。骨卒中は、骨粗鬆症を原因として生じる大腿骨近位部骨折、脊椎骨折といった脆弱性骨折が、脳卒中と同様に重篤な疾患であることを広く社会で認知していただくために作られた造語です。このような脆弱性骨折に対して効率良い治療を行うためには、多職種での取り組みが必須です。

リエゾン (liaison) は、元々はフランス語で、「語を単独で読む場合には発音されない語末の子音字が、直後に母音が続く場合に発音される現象」のことを意味します (Wikipedia より)。具体的にはフランス語の教科書を見ていただければと思いますが、それが転じて、主として精神科において色々な診療科の医師と協力して行う医療のことを「リエゾン精神科 (liaison

psychiatry)」と呼ぶようになったようです。これがさらに広がって、異分野の人々が協力し合うことをリエゾンと呼ぶようになりました。骨粗鬆症治療におけるリエゾンの重要性は、英国 Glasgow においてスタートした fracture liaison service (FLS) の成功によって注目されるようになりました。骨粗鬆症治療の問題は、有効な治療薬があるにもかかわらず、疾患自体に自覚症状が少ないため、治療の継続が難しいことにあります。FLS はリエゾンナースをはじめとしたコーディネーターが中心となって、多職種が協力することで脆弱性骨折患者の同定 (identify)、評価 (investigate)、説明 (inform)、介入 (intervene)、そして情報共有 (integrate) という 5IQ を実施し、二次骨折予防を達成しようというシステムです。その有効性は多くの前向き研究から明らかになっており、その運動は世界に広がっています。FLS にヒントを得て、わが国では取り組みを一次骨折にも広げようということで、「骨粗鬆症リエゾンサービス」がスタートしました。骨粗鬆症リエゾンサービスの取り組みは全国に広がりつつあり、その中心となる骨粗鬆症マネージャーの数も年々増えています。今後わが国において、その有用性を示すエビデンスが蓄積していくことを期待しております。(田中 栄)

「整形・災害外科」第62巻 第13号 (12月号) 2019年12月1日発行 (毎月1回1日発行) 定価 (本体 2,500 円 + 税) 年間購読料金 定価 (本体 39,400 円 + 税) [年間13冊 (臨時増刊号、増大号を含む) の誌代] [年間予約購読者に限り送料無料]	発行所 金原出版株式会社 発行者 福村直樹 〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14 TEL 03 (3811) 7165 [編集室直通] TEL 03 (3811) 7184 [営業部直通] FAX 03 (3813) 0288 http://www.kanehara-shuppan.co.jp 振替口座 00130-1-191269 印刷所 三報社印刷株式会社 広告申込先 日本医学広告社 TEL 03 (5226) 2791
---	---

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権 (送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。